

100歳記念植樹と2023年クリスマス会 ~グループホーム みどりの家

昨年末に3ユニット合同で、100歳を迎えた入居者様の記念植樹(12/12)とクリスマス会(12/25)を行いました!!



グループホーム

- ちぐさの家 空室0
- わかばの家 空室2
- みどりの家 空室2
- はなみの家 空室1
- ものいの家 空室1
- きくまの家 空室1
- さくらの家 空室0

サービス付き 高齢者向け住宅

- こもれびの郷 空室0
- みつわの郷 空室1
- みのりの郷 空室0

デイサービス

- デイサービス大日 空室2
- なごみの郷 空室2

株式会社マウントバード 千葉介護事業部

Instagram マウントバード 公式アカウント

各施設の日常の様子を公開中! フォローお願いします!

マウントバード施設紹介・空室状況

開設主体：株式会社マウントバード		千葉県花見川区千種町231番地		TEL：043-216-1600
施設名	定員	空室	住所	施設電話
グループホーム ちぐさの家	18	0	千葉県花見川区千種町150-1	043-216-0860
グループホーム わかばの家	27	2	千葉県若葉区東寺山町399-1	043-290-8177
グループホーム みどりの家	27	2	千葉県緑区誉田2-11-105	043-292-4907
グループホーム はなみの家	18	1	千葉県花見川区大日町1386-2	043-309-6545
グループホーム ものいの家	18	1	四街道市物井1806-12	043-421-2030
グループホーム きくまの家	18	1	市原市菊間2394-2	0436-63-7235
グループホーム さくらの家	18	0	佐倉市西志津7-14-3	043-235-8071
サービス付き高齢者住宅 みつわの郷	11	1	千葉県若葉区みつわ台1-29-1	043-308-8002
サービス付き高齢者住宅 こもれびの郷	12	0	千葉県若葉区みつわ台1-28-16	043-207-0361
サービス付き高齢者住宅 みのりの郷	15	0	千葉県花見川区千種町154-3	043-286-6555
サービス付き高齢者住宅 なごみの郷	15	2	千葉県花見川区千種町194-1	043-310-3968
デイサービス 大日(通常規模型通所介護)	20	2	千葉県花見川区大日町1386-1	043-306-8068

(空室状況：2024年1月末現在) ■お問い合わせ 090-6159-5863 (山本)

マウントバード便り

February2024 <Vol.37>

寒暖の変動はあってもこの冬は暖冬傾向のようで、花粉も早く飛びそうです。マウントバードの各施設では、100歳の記念植樹あり、入居者様を撮影しつつ個別にインタビューした動画をTV画面で観賞するという画期的なアイデアにビックリ!! 常日頃、職員とのコミュニケーションが取れていて楽しそうですね。定例となった月一の研修、今回は『介護技術研修』です。「自身が働く施設」から飛び出して他の施設の職員と交流したり、外部からの講師より新たな情報や新しい視点が学べて、そのメリットは結果、入居者様にもたらされます。

《特集》2024.1月開催 介護技術研修より
 ※中ページをご覧ください



2023年で楽しかったことは?
 2024年はどんな年にしたい?

TVの主役は私たち!!

昨年末、きくまの家では入居者の皆さんにインタビューした動画の観賞会を楽しみました。

グループホーム きくまの家
 市原市菊間2394-2 TEL: 0436-63-7235

研修

2024.1.20(土)



介護技術研修

～入居者様の生活の質(QOL)に大きくかかわってきます!!

私たち介護職員の役割は、介護の専門職として専門的知識や技術を身につけ、入居者様が日常生活の中でできるだけご自身の力を使った生活行為を積み重ねられるようにチームで支援することにより、身体機能の維持向上を目指していくことです。そのため今回は身体介護技術のプロフェッショナルであります笹木良様を講師としてお招きし、人間本来の自然な体の動きを引き出す介護技術、人間の身体構造にかなった介護技術を講義と実技を交えながら丸一日かけて学びました。

単なる介護職本位の技術の向上を目指すのではなく、入居者様が負担や不快に感じない方法は他にないかを日々職員間で話し合い一つ一つ改善していくことが、結果的にチームとして介護技術の向上につながることを今回の研修で学びました。学んだことを今後の支援に活かしていきます。

講師 笹木 良氏

所属：社会福祉法人仁愛会 特別養護老人ホーム和泉サナホーム



Ryo Sasaki

■介護技術の実践前に職員が理解しておくべきこと、基本的な考え方■

- ①まずは、入居者の気持ちを知り、やる気(～しよう)に持っていくこと
- ②動作の説明を行い、同意(選択をしてもらう)を得ること
- ③入居者の気持ちや身体の状態は『日々、時間帯、その時々』で変化すること
- ④基本動作にできる限り近づける⇒自分の知識や技術は我流(強引)になってないか→結果、介助者も無理な力を使わず、身体も守られる
- ⑤入居者の動作のペースを考えながら、ゆっくりと慌てず入居者の力を十分に使う
- ⑥入居者の目指すべき目標に近づけるよう、日常の中で役立つ動作で筋力強化を
- ⑦職員によって介助方法は異なるのは当然。入居者の機能を最大限に使いながら、自分の身も守れる方法を追求すること
- ⑧毎回、新たな可能性にチャレンジするために思考し、試行すること
⇒『出来る』ための方法を見出すのが専門職

■介護技術の実践■

- ①支援の前に必要な環境整備、物品準備は済ませておく
- ②職員と入居者の距離間⇒近すぎても遠すぎても不快を与え、お互い無理な力が必要に
- ③職員の言葉掛け・表情(特に視線)・姿勢(態度)に注意
⇒まずは入居者の気持ちが“～する。～しよう。”になっていないと身体は動かない
- ④入居者の状態把握⇒職員の言葉が把握できているか⇒動作に必要な機能があるか
- ⑤支援のスピード⇒早すぎると恐怖感で筋肉が緊張、遅すぎると筋力や集中力がなくなる
- ⑥支援の量⇒その時々入居者の状態に合わせ、職員の支援量、支援方法を変更する
- ⑦入居者に不快を与えない⇒不快な感情は集中力を欠き、動作の妨げになってしまう
⇒常に入居者の立場に立って考える
- ⑧職員を守る⇒支持基底面積をとる⇒腰を曲げず、膝を曲げる⇒出来る限り、自分の身体を3点で支えるようにする⇒入居者の身体を分割して動かし、入居者の力を使う



気持ちが動かないと身体は動かない



入居者の状態確認：関節の拘縮や麻痺の状態、下肢筋力の状態、腕力の状態

移乗介助

近すぎても遠すぎても不快を与え、お互いに無理な力が必要になってしまう



起き上がりの基本：顎を引いてもらう(腹筋に力が入りやすい)。膝を立ててもらい、向きたい方向に膝を倒してもらう。続けて肩を支えながら、上半身を向きたい方向に向ける……



職員を守る：支持基底面積(身体を支えるために必要な床面積)をとる⇒腰を曲げず、膝を曲げる⇒出来る限り、自分の身体を3点で支えるようにする⇒入居者の力を使う⇒入居者の身体を3点で支えるようにする

食事支援



誤飲のリスクを軽減させるためには、食材が気道に入らないことがポイント。顎から胸にかけて、指が3～本入る程度。顎を引くと望ましいと言われている



更衣介助

職員の腕に入居者の患側の衣類の袖を先に遠し、入居者の患側の袖を支えながら、入居者の腕に袖を通していき、背部から衣類を回して健側の腕を通していただく



衣類が捻じれていると違和感から不快につながります。衣類の袖の縫い目が入居者の小指のラインに来るよう合わせることも重要です

更衣の基本は『脱健着患(だっけんちゃくかん)』健側から脱ぎ、患側から着る、です



手前から歩行支援時は、入居者の両脇を支え、職員の腕を持ってもらう



杖歩行の基本(1本杖)
原則：杖⇒患側の足⇒健側の足
階段の上りのみ：杖⇒健側の足⇒患側の足



移乗時の車椅子の準備：必ずフットレストを開くこと!!



研修に参加して…

右を向いても左を見ても『目からウロコ』だらけの研修でした。体験して初めて気付かされた、ケアする側とされる側の負担の多さ！
人員不足？やる事が多い？—
そんな言い訳なんかしている場合では無い！
すぐに次の日から取り掛かりました。
まず、出来ることから…

急がば回れ！
ひとつひとつの動作、声掛けを考えて行動し、起こった事の分析を行い要因を見出す。
それらをきちんと行う事で、お互いの負担を減らし、入居者様一人ひとりの状態を上げていける。
介護は丁寧に！そして多くのことに気づく事が大切。

グループホーム ちぐさの家・ホーム長 寺内 ゆかり